秋田工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	日本文化論

科目基礎情報

科目番号	0017	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	環境システム工学専攻	対象学年	専1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	自製プリント配付　※『はじめて学ぶ日本文学史』榎本隆司編著（ミネルヴァ書房）		
担当教員	石塚 政吾		

到達目標

1．日本文学の諸相を時系列に沿って学習し、各時代・分野ごとの基礎的な知識を習得する。
2．日本語表現の特質を理解し、時代を超えて伝わる日本人の心について理解を深める。
3．文化としての言語の働きを理解し、自己の表現活動に役立てる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	日本文学の諸相を各時代・分野ごとに学び、基礎的な知識をまとめ、考察することができる。	日本文学の諸相を各時代・分野ごとに学び、基礎的な知識をまとめることができる。	日本文学の諸相を各時代・分野ごとに学び、基礎的な知識をまとめることができない。
評価項目2	日本語表現の特質を理解し、時代を超えて伝わる日本人の心について理解し、自分の考えをまとめることができる。	日本語表現の特質を理解し、時代を超えて伝わる日本人の心について説明することができる。	日本語表現の特質を理解できず、時代を超えて伝わる日本人の心について説明することができない。
評価項目3	文化としての言語の働きを理解し、自己の表現活動に役立てることができる。	文化としての言語の働きを理解し、自己の表現活動に役立てようとすることができる。	文化としての言語の働きを理解できず、自己の表現活動に役立てようとすることができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	日本文学の諸相について学ぶことにより、日本語表現の特質及び日本文学の史的特徴について深く理解し、自己の表現活動に役立てようとする姿勢を身につける。
授業の進め方・方法	講義形式並びに演習形式で行う。定期的にレポートの提出を求める。
注意点	日頃から新聞や雑誌、図書館の本、インターネット等の様々な言語資料によく接しておくこと。 合格点は60点である。各回ごとのレポートを40%、到達度試験を60%として評価する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	授業のガイダンス	授業の進め方と評価の仕方について説明する。
		2週	総説・日本文学の諸相	日本文学の全体像、概要について説明できる。
		3週	上代の文学	上代の文学の特徴について説明できる。
		4週	中古の文学①	中古の文学の特徴について説明できる。
		5週	中古の文学②	中古の文学の特徴について説明できる。
		6週	中世の文学	中世の文学の特徴について説明できる。
		7週	近世の文学	近世の文学の特徴について説明できる。
		8週	到達度試験（後期中間）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
	4thQ	9週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答
		10週	近代の文学・明治の文学①	近代の文学及び明治の文学の特徴について説明できる。
		11週	明治の文学②	明治の文学の特徴について説明できる。
		12週	大正の文学	大正の文学の特徴について説明できる。
		13週	昭和の文学①	昭和の文学の特徴について説明できる。
		14週	昭和の文学②・現代の文学	昭和の文学及び現代の文学の特徴について説明できる。
		15週	到達度試験（後期末）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
		16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答及び授業アンケート

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0